

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成29年4月27日(2017.4.27)

【公表番号】特表2016-515421(P2016-515421A)

【公表日】平成28年5月30日(2016.5.30)

【年通号数】公開・登録公報2016-033

【出願番号】特願2016-504846(P2016-504846)

【国際特許分類】

A 6 1 N 1/39 (2006.01)

【F I】

A 6 1 N 1/39

【手続補正書】

【提出日】平成29年3月27日(2017.3.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

電極コネクタと、

操作者起動ボタンと、

起動入力に応じて、前記操作者起動ボタンとは無関係に除細動器を起動させるために動作可能な自動電源オン回路と、

前記電極コネクタ、前記操作者起動ボタン、及び前記自動電源オン回路と電気的に通信するコントローラであって、前記コントローラは、イベントパターンを検出し、さらに、検出された前記イベントパターンに応じて前記自動電源オン回路を動作させない、ポータブル除細動装置。

【請求項2】

前記イベントパターンは、介入が感知される前記操作者起動ボタンの押下の無い、前記自動電源オン回路による複数の起動である、請求項1に記載の装置。

【請求項3】

前記コントローラは、さらに、前記操作者起動ボタンの感知された押下に反応して、前記自動電源オン回路を再度有効にする、請求項2に記載の装置。

【請求項4】

前記自動電源オン回路による前記複数の起動は、閾値の周期性よりも周期的でない、請求項2に記載の装置。

【請求項5】

前記イベントパターンは、前記電極コネクタにおける電極の介入感知された配置の無い、前記自動電源オン回路による複数の起動である、請求項1に記載の装置。

【請求項6】

前記コントローラは、さらに、前記電極コネクタにおける電極の感知された配備に反応して、前記自動電源オン回路を再度有効にする、請求項5に記載の装置。

【請求項7】

前記自動電源オン回路が作動しない場合を表示するために動作可能なユーザ知覚可能出力部をさらに有する、請求項1に記載の装置。

【請求項8】

前記自動電源オン回路は、前記除細動器用収納ケースが開けられた場合に起動するケー

ス開センサをさらに有する、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 9】

前記ケース開センサは、ホール効果センサである、請求項 8 に記載の装置。

【請求項 10】

除細動器の電力状態を管理する方法であって、

低電力スタンバイ状態の除細動器を提供する提供ステップであって、前記除細動器は、電極コネクタ、操作者起動ボタン、及び、前記操作者起動ボタンとは無関係に前記除細動器を起動させるために動作可能な自動電源オン回路、と電気的に通信するコントローラを含む、当該提供ステップと、

起動入力に応じて、前記自動電源オン回路で前記除細動器を自動的に起動させる自動起動ステップと、

前記自動起動ステップに基づいてイベントパターンを検出する検出ステップと、

前記検出ステップに基づいて、前記自動電源オン回路を動作させないステップと、

前記自動電源オン回路が動作しない状態で前記除細動器を前記低電力スタンバイ状態に戻すステップと

を含む、方法。

【請求項 11】

前記イベントパターンは、前記自動起動ステップと、ユーザ取り扱いイベントの介入検出の無い少なくとも 1 つの前の自動起動ステップとを有する、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 12】

前記ユーザ取り扱いイベントは、前記電極コネクタに接続された電極の配備又は前記操作者起動ボタンの検出された起動の内の一つを有する、請求項 11 に記載の方法。

【請求項 13】

前記イベントパターンは、前記前の自動起動ステップにすぐに続くタイムアウト不活性化ステップをさらに有する、請求項 11 に記載の方法。

【請求項 14】

前記イベントパターンは、各々にタイムアウト不活性化ステップが続く 4 つの前の自動起動ステップと、介入ユーザ取り扱いイベントの検出の無い前記自動起動ステップに続く 5 つ目のタイムアウト不活性化ステップとを有する、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 15】

前記イベントパターンは、介入ユーザ取り扱いイベント及び介入タイムアウト不活性化ステップのいずれも無い複数の自動起動ステップを有する、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 16】

前記方法は、さらに、

前記動作させないステップに後続するユーザ取り扱いイベントを感知するステップと、

前記感知するステップに基づいて、前記自動電源オン回路を再度有効にするステップとを有する、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 17】

前記感知されたユーザ取り扱いイベントは、前記操作者起動ボタンの感知された起動又は感知された電池挿入の内の一つである、請求項 16 に記載の方法。

【請求項 18】

前記操作者起動ボタンは、オン / オフボタン又はショックボタンの内の一つである、請求項 17 に記載の方法。